

県内の遺跡・遺物25

かんのんだいら てんじんどう
観音平・天神堂古墳群 (昭和53年国指定)

所在地：新井市大字青田・宮内・乙吉・籠町

高田平野西側の低丘陵地には、7つの古墳群（灰塚・黒田・南山・稲荷山・青田・観音平・天神堂）があり、5～6世紀頃の築造とされる約190基の古墳が存在している。観音平・天神堂古墳群（国の指定では青田古墳群を含む）は計170基の古墳からなり、天神堂古墳群には118基が集中している。

天神堂古墳群は、1925年に2基の古墳が、1957年に2基の古墳がそれぞれ調査されているが、古墳群およびその周囲は地形の改変もなく、特に良好な状態で保存されている。入念な下草刈りによって、約1,500年を経た古墳の高まりを、現在でも累々と認めることができる。天神堂古墳群の入口には、現世と冥界を隔てるように諏訪神社・不動神社があり、眼前には新井市街・関田山地（光が原高原方面）が広がる。4月中旬には古墳群一面がカタクリの花で覆われる。



群生するカタクリ



天神堂古墳群 (1999年4月16日撮影)

前号の訂正

8ページ [県内の遺跡・遺物24 鮫ヶ尾城跡] の文中で、上杉景虎・上杉景勝の「景」の字が、すべて「影」になっていました。訂正いたします。また、一部のページに写真や色文字の色ずれがあったことをお詫びします。なお、「県内の遺跡・遺物」は新潟県埋蔵文化財センターのホームページでもご覧になれます。

埋文にいがた No.27

発行 (財)新潟県埋蔵文化財調査事業団
 〒956-0845 新津市金津93番地1
 TEL (0250)25-3981
 FAX (0250)25-3986
 e-mail: maibun@coral.ocn.ne.jp

印刷 有限会社 双葉印刷